

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. 83

April 2016



シルバーケアセンター
「フラワーセラピー～春のお花でフラワーアレンジメント～」

INDEX

①

トレンドTOPIX 潮流
ニエースウォッチ

人材難対策として必要な処遇改善
将来の介護職の役割見据えた育成を

フォーカス「老健ちば」

〈管理者研修会報告〉

次期介護報酬改定の動向と
地域包括ケアにむけた老健の経営について

公益社団法人全国老人保健施設協会
社会保障制度委員会報酬部会

漆間 伸之

③

〈特集〉フェルマータ船橋

「持ち上げない介護」

〜いつやるの？今でしょ！?〜

⑤

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「ソバ打ちにはまる」

ケアセンターけやき園
事務長 村田隆司



⑦

〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

- みどりの家
- みやぎの郷

〈老健ちはカレンダー〉
〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

平成28年4月18日 発行

● 発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ● 編集者/広報委員会

● 〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-259-8435 FAX:043-259-8436

トレンド TOPIX 潮流

ちょうりゅう

ニ
ュ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

人材難対策として必須な処遇改善

将来の介護職の役割見据えた育成を

人材の争奪戦は今後さらに過熱

将来は人材育成の充実に報酬？

介護需要がピークを迎える2025年。介護人材不足が一層深刻化するの確実だ。人材の確保競争がますます激化する中、処遇改善の取り組みは欠かせない。求められる介護の専門性も高まると予想され、教育体制の充実は待ったなしだ。

介護業界で人材育成の重要性に目が向けられ始めたのは、「介護職員処遇改善交付金」が創設された2009年以降。交付を受ける要件に、キャリアパス（職業経歴の道筋）の整備などが盛り込まれたのがきっかけだった。

その後、同交付金は2012年度介護報酬改定で「介護職員処遇改善加算」に衣替え。2015年度改定では報酬引き上げと同時に、同加算（Ⅰ）の要件として、職責・職務内容の基準の策定とそれに応じた賃金体系の構築が求められた。

現在、介護業界は全国的にこれまでにない介護人材不足に見舞われており、事業者間の人材確保競争は激しさを増している。さらに今後、人材不足がますます深刻化するのには必至。厚生労働省が2015年6月にまとめた介護人材に関する需給推計では、2025年度に253.0万人の介護人材の需要が予想されるのに対し、供給の見込みは215.2万人で、37.7万人の不足が生じる可能性があることが分かった。

こうした状況下で、キャリアパスや育成の方針を、介護職員に示すことができなければ、定着率の悪化や採用の停滞に直面し、事業存続が危うくなる可能性すらある。また、キャリアアップのわかりやすい形は確かに役職だが、役職に関係なく実務レベルの階層も設け、専門志向の職員などのモチベーションを高めることも大事だ。

国も介護職のキャリアパス構築を後押しする。内閣府は2012年度に「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」を創設。全国共通の基準で介護スキルを評価し、7段階でレベル認定する仕組みだ。同制度を普及させて効果的に人材を育成し、介護職の処遇や社会的評価の改善につなげる狙いがある。

2015年度からは厚労省の所管事業となり、制度の定着と有効な運営を目指して検討会で議論が進む。既に、レベル認定を担うアセスサーが1万1900人弱、レベル認定者が約1150人誕生。国は認定者数をもっと増やす方針で、将来は介護報酬に連動させる可能性もある。事業者はこうした政策への対応も考慮する必要がある。

（日経）リサーチ2016/3号より記事一部抜粋

フォーカス 老健 ちびば

管理者研修会報告

平成28年1月20日(水)ホテルポトプラザちびばにて、34施設43名が参加され平成27年度管理者研修会が開催されました。

公益社団法人全国老人保健施設協会管理運営委員会委員長山野雅弘氏、千葉県健康福祉部保健医療整備課長高岡志帆氏、平山病院薬局長小林悟氏、公益社団法人全国老人保健施設協会社会保障制度委員会介護報酬部会員漆間伸之氏より講演をいただきました。その中で、「次期介護報酬改定の動向と地域包括ケアにむけた老健の経営について」講義をいただきました漆間伸之氏より講演頂いた内容につきまして二つの視点からご報告をさせていただきます。



次期介護報酬改定の動向と 地域包括ケアにむけた老健の経営について

公益社団法人全国老人保健施設協会
社会保障制度委員会報酬部会

漆間伸之

1. 老健施設がすべきこと・出来ること (地域包括ケア研究会報告書より抜粋)

- ・入所サービスの機能のみならず、地域支援機能を強化することが重要
- ・リハビリテーションの職員を擁してあり、機能的にも在宅復帰を担ってきたことから、その機能を活用し、在宅生活の継続や拡大を具体的に支援することが可能
- ・人材やノウハウの集積を活用した居宅サービス支援等により、地域の拠点としての機能を発揮
- ・介護職と医療職が一体的にサービスを提供してきたノウハウを活用

などが、地域包括ケア研究会が老健施設に期待する機能である。そのいずれの項目も「入所施設」というよりも「在宅療養支援」の方向が、示唆された内容になっている。平成22年3月に出された同研究会の提言「介護保険施設類型の再編・施設を二元化して最終的には住宅として位置付け」と「在宅復帰のための生活期リハビリテーションを行う、病院と住まいの中間施設の有効活用」という2つの論点が24年改定の「(住まいではない)在宅強化型老健」、27年改定の「活動参加に焦点を当てたりリハビリテーションの推進(生活期リハの充実)」につ

ながっているとしたら、次期30年改定でそれらの集約がなされるのではないかと思われる。そのためには、あと2年余、国の方向を踏まえ自施設ですべきこと・出来ることを実践検証していくことが必要である。

2. 地域包括ケアシステムの拠点として 老健施設が担う役割

地域包括ケアの構築には入院入所から「在宅」へ戻す機能を強化した上で、「本人家族の選択と心構え」により「すまいとすまい方」を決定させ「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」分野の生活支援・福祉サービスで支えるという地域包括ケア研究会の報告が実践されつつある。しかし、受け皿部分の「心構え」はイコール「住み慣れた自宅で暮らす覚悟」ともいえる。「独居・老々・中重度者認知症であつてもできる限り自宅で暮らす」ことを老健の機能でどこまで支えられるのか?これには、私たちの心構え・覚悟も重要である。「リハビリ」「多職種協働を基盤としたケア」「医療」「認知症対応」などの老健の機能を地域がどれだけ必要としているのか?地域特性に合わせた老健の役割強化は重要な課題である。



平成27年度研究事例発表大会最優秀賞

フェルマータ船橋

「持ち上げない介護」

～いつやるの？ 今でしょ!?!～

去る平成27年12月18日に開催された事例発表大会において見事、最優秀賞に輝いたのは『持ち上げない介護』いつやるの？ 今でしょ!?!』でした。
 今回、広報委員はフェルマータ船橋に伺い、介護長の青砥雅昭さんと介護部サブリイダーの池田和美さんに受賞を果たした取り組みの様子について取材をさせていただきました。

取り組みんだきつかけは ノーリフティング委員会の 立ち上げ！

平成21年より毎年福祉の先進国であるデンマークへの海外研修を実施してきました。近年日本でも「持ち上げない介護」を耳にするようになり、研修でも技術や福祉用具の使用方法などを学ぶ機会を増やしていましたが、習得してきたことを実際の現場で活かすことができずにいました。何とか習得してきたことを活かしたいと思いノーリフティング委員会の発足に至りました。

ノーリフティング委員会の目的

- ・ 職員の離職の原因となる腰痛への対策・予防をすること。
 - ・ 利用者の安心・安全・自立支援を促すと共に介護士の知識・技術の向上を目指す。
 - ・ 職員全員で持ち上げない介護への意識転換を図ること。
- ※委員会メンバーの構成は介護士やリハビリ職を主体としました。

取り組みの方法と経過

まず、職員の現状の意識の把握をするためにアンケートを実施し、その結果をもとに技術講習や福祉用具の導入を考えました。技術講習は委員会のメンバーが外部講習に参加したり、外部講師を招いて学習することで知識・技術を習得し、職員にも伝達できるように内部指導者を作りました。その後、内部指導者が主体となり職員への伝達講習会を週2回設定し、全職員に講習を受けてもらい技術の習得を図りました。また、個々がいつでも確認・復習が出来るよう動作の手順を動画に収め、閲覧できるようにしました。

福祉用具はリフトやボード等のデモを積極的に取り入れ、業者の指導を受けながら職員に福祉用具の便利さや安全性を体験してもらい選別してスライディングシートやスライディングボードの購入をしました。その他にデンマーク研修で見て衝撃を受けたキャスター付きチェアを導入しました。(今ではすべての椅子がキャスター付きに)利用者は人で椅子を動かすことが可能となり、利用者の自立度は上がり介助量は大幅に減らすことができました。

車いすからベッドへ移る様子



横向きから起こす様子



今回の活動・取り組みを通じて得られたこと

まず職員意識は少しずつ前向きに変化していると感じています。しかしながら忙しい時間帯や気持ちにゆとりがないときなどには速さを優先してしまうこともあるので業務のマネジメントが必要であると思います。

次に福祉用具は日常的に活用できるようになっています。実際の介護の場面では様々なADLの利用者がいるので個々の状態や適切な介助方法を見出し、応用力を身につける必要があります。なお、月に1度は職員の介護技術を確認する時間を設けています。(現在、スライディングボードの対象利用者は2〜3名、スライディングシートの対象利用者は4〜5名程度おり、最初は職員の意識付けをするためベッド脇にボードやシートの対象と表記していたそうです。)

今回の取り組みを通じて利用者の自立度は上がり介助量は大幅に減らすことができました。職員だけでなく利用者自身にも体の動きを理解してもらうなど協力してもらいながら、自立支援につなげていきたいと思っています。

今後について

- すべての動作において持ち上げない介護への意識を持って介助が出来る環境を整えたい。
- 介護者の身体を守り、介護士として長く働ける職場づくりを実現したい。
- 家族等に持ち上げない介護を指導・提案のできる職員を育成し、在宅支援にも役立てていきたい。

フェルマータ船橋は
ノーリフティング
ポリシーを
目指します!!



今回、取材に協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。とても素晴らしい感動いたしました。この取り組みは職員全員の意識がとても大切で重要とのことでした。職員の「持ち上げない介護」に対する意識付けをどのように行うか苦労されたようですが、苦労の甲斐あって成果を得られています。皆さんも是非「持ち上げない介護」を取り組んでみてはいかがでしょうか。



■フェルマータ船橋

住所 船橋市飯山満町1-822 電話047-425-5581
開設 平成10年7月
定員 入所97名〈内、認知症専門棟40名〉 通所96名



在宅復帰支援研修会

平成28年3月22日ホテルポトプラザを会場に在宅復帰支援研修会が開催され、介護老人保健施設せんだんの丘施設長土井勝幸氏を講師に迎え講義が行われました。

43施設から73名の参加があり、介護支援専門員、リハビリ職員はもちろん、医師、看護師、介護職員、支援相談員、管理栄養士、事務職員と介護老人保健施設で活躍するすべての職種が集まる研修会でした。

地域包括ケアシステムに関する講義では、更に急速に進む高齢者人口割合の増加に対応する為には、徹底的な介護の効率化が必要で、専門職への期待と同時に、自助・互助・公助・共助が欠かせない、「21世紀型コミュニティの再生」について語られました。

地域包括ケアシステムの構築に向けた平成27年度の介護保険制度改正についても説明があり、介護老人保健施設の役割を確認しました。

せんだんの丘は平成12年4月に開設し、介護保険と共に歩んできた介護老人保健施設です。平成20年に7%であった在宅復帰率を60%へ上昇させた在宅強化型の施設です。平成21年度より在宅復帰プロジェクトチームを発足し、在宅復帰率を50%にするまで3年半を要した。その取り組みについてお話ししました。

入所前からリハビリ職員が訪問をし、生活環境の把握をし、「できる活動」を評価し

ケアに活かしている。入所中も多職種による外出・外泊訪問指導をし、在宅復帰後の生活を具体的に繰り返し返してイメージしている取り組みが紹介されました。「町内会・老人会へまた参加したい」「自分で洗濯をしたい」など本人が望む具体的な目標を設定し、「その人らしい」と自他ともに思える作業をする事の重要性が語られました。

土井氏より「在宅強化型に取り組み介護老人保健施設は稼働率が低下する事がある。しかし、必ずV字回復をする。」と力強い発言がありました。変革は容易ではないが、求められているサービスを提供すれば、地域社会から必要とされ報酬も加算されると、実績に基づく発言に参加者は励まされました。

研修終了後も講師を囲み質問をする参加者の姿がみられ、熱気を帯びた研修でした。



接遇研修会

平成28年2月16日千葉県教育会館にて「老人保健施設における接遇研修会」が開催されました。小林社会保険労務士事務所代表 特定社会保険労務士 小林妙子氏を講師にむかえ「接遇とは」「認知症の人の気持ちを理解して関わる」より良い接遇を実践するために」の講義がありました。



参加者は「介護老人保健施設の職員として、日常業務の中でどのような接遇を目指すか、1人ひとりに考えてもらい、より良いサービスが出来るようになる。」を目的に研修に取り組みました。

第2回支援相談員部会

平成28年2月17日ホテルポトプラザにて「第2回支援相談員部会」が開催されました。介護老人保健施設葵の園・小田原施設長 高梨吉則氏を講師にむかえ、「老化は防げるか」をテーマに講義がありました。



40施設から46名の支援相談員が集合し、興味深いテーマを受講しました。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL.048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

『ソバ打ちにはまる』

ケアセンターけやき園 事務長 村田隆司

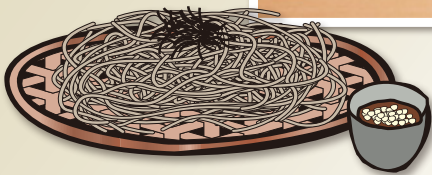
昔からソバが好きで子供の頃は塾の帰りに駅の立ち食いソバに寄ったり、大人になっても週末の食へ歩きでソバを求め近頃のソバ屋にも食へ歩きに行くのが私のレジャーです。そんな私がソバ打ちを行うきっかけは新聞のチラシで見た市民講座の案内でした。「年越しソバを自分で打つ」という教室に入り、自分で打つたソバを食べたいという考えで参加しました。ソバ教室に何回か参加するうちにすっかりソバに魅了されました。ソバ打ちの時間はまさに自分のツボでした。ソバ作りの過程で粉をこねたり伸ばしたりすると日々のストレスもこの時は無心でいられるので楽しくてたまりません。

趣味というには失敗ばかりで短いソバが出来たり、太さが太いものができたりとがっかりする事もあります。お店のソバにはまだ程遠いのですが、自分で作ったソバは格別です。欲が深く最近では粉の産地とかソバ粉の配合とか、つけ汁などにも凝ってしまい、今ではソバ以外の料理もやる様になり、テレビの料理番組を観たり、料理本を買ったりする事も増え、週末は時々主夫になります。今でも自分の作るソバは未熟ですが家族が喜んで食べてくれるので次もまた作ろうという気になります。「男子厨房に入らず」とは私とは無縁な話です。皆さんにもソバ打ちをおすすめします。

最初は粉だつたものがこねたり、伸ばしたりして段々とソバになると感動します。この体験だけでは飽きたらずに自宅でもソバを打とうと思ひ道具を購入しました。道具は職人さんが使う本格的なものでは無く、ホームセンターで購入しました。



自分で作ったソバは格別です!



看護・介護

リーダー部会



光栄館 根本 博美

4月より、新たに看護・介護リーダー部会の部会長という大役を務めさせて頂いていただくことになりました。根本博美と申します。千葉県南房総市谷向にある介護老人保健施設光栄館の看護師長をしております。老健施設に携わるようになって今年で四年目になります。

接遇改善・身体拘束及び虐待防止・認知症・ターミナルケアと課題はたくさんありますが、日々変化していくのでついていくのが精一杯です。そんな中、ご利用者様の優しい声かけや笑顔を糧に、看護・介護・他部署と連携し、より良いサービスを提供しようと思ひながら頑張っている次第です。会長をさせて頂きながら、他施設の取り組み等を教えていただき、一緒に学んでいきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

Information

日医リースの 補助金活用 省エネ改修支援事業

改修プラン作り 補助金申請 資金の手当 など
まとめて解決します。

補助金実績豊富な日医リースへご相談ください。



株式会社 日医リース

<お問い合わせ> 株式会社 日医リース 営業企画部 環境ビジネスサポート室
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-3-8 五反田御幸ビル6階
TEL:03-3490-8641 FAX:03-3490-8646 URL:http://www.nichii-lease.com/

なのはな スマイル

明るく!

元気!

施設の笑顔をご紹介します!



■ みどりの家

平成8年5月に千葉都市モノレール穴川駅より徒歩3分と非常に交通の便が良い都市型施設として開設しました。シンボルの時計が四方から見える青い建物です。創立20年の節目を迎え、「敬いと親しみの介護」を目指し職員一丸となって日々頑張っています。

住 所：千葉市稲毛区天台4-1-16
電 話：043-284-6883
開設日：平成8年5月15日
入 所：100名
通 所：15名



施設のエンターティナーとして
一日一度は笑って頂いております。
泣いても、笑って過ごすも
同じ一日。楽しい日々を



●みどりの家
介護福祉士 小林 豊

■ みやぎの郷

千葉県館山市に医療法人南陽会介護老人保健施設として開設し今年5周年を迎えます。西には館山湾と富士山を眺められます。設立当初から「地域に根差した医療・福祉に取り組む」ことをモットーに、愛があり安らぎがあり心が通う介護を目指し、日々他職種と連携を密にとりながら明るく楽しく笑顔一杯の老健にする為、スタッフ一同日々奮闘しています。

住 所：館山市宮城1088
電 話：0470-24-4165
開設日：平成23年8月4日
入 所：100名
通 所：30名



楽しさを共有しながら、
共に笑い合えるお仲間作り
のお手伝いをさせて頂ければ
幸いと考えています。



●みやぎの郷
介護リーダー 川口 豊子



老健ちばカレンダー

6月

1日(水) ●第1回新人職員研修会(ホテルポートプラザちば) 23日(木) ●レクリエーション研修会(ホテルポートプラザちば)

●理事会・社員総会(日時場所は未定) ●平成28年度介護老人保健施設の会計経理に関する研修会(伝達講習)(日時場所は未定)

●編集後記

- 今回の編集を終えて、今回の「なのはな」より83号の原稿提出期限があまり無い状況でも快諾して頂いた施設の方々には、本当に感謝申し上げます。改めて人の優しさを感じ、良い経験させて頂いている事を実感しました<(_*)>(福田)
- 施設が開設して10年が経ちました。早かったのか? 長かったのか? それぞれですが開設からいる職員には節目ということで、何かサプライズ的なことが起こりそうですo(=∩=)o(神作)
- 昨年度末に在宅復帰支援研修会に行ってきました。多くの職種が集まり、活気ある研修でした。今年度も魅力的な企画が計画されており、楽しみですo(∩o∩)(若林)
- 花粉がブンブン舞っている今日この頃ですが皆さんどうお過ごしでしょうか? 先日イチゴ狩りに行ってきました。日曜日だったので混みあっていましたが、1歳の娘もたくさん食べて家族で楽しく過ごしました。花粉さえなければもっと楽しめたのに……(△△)(河野)

- 厚生省の調査によれば、高齢者の「医療+介護」費用は全国平均101万2000円で、なんと千葉県は最低額84万6000円だそうです。(ちなみに最高は長崎県の120万円)。どうしてこんなに地域差があるのでしょうか? まして最低が千葉県とは??? 千葉県の高齢者は健康で元気なんでしょうかw(°*)w(坂本)
- 今年は、子供が保育園を卒園し、新年度から小学校へ入学です。私自身がいつもにはないような、緊張した新年度になりそうです。頑張れ娘~(*∩o∩)b♪(佐々木)
- 4月に入り、新年度がスタートいたしました。気持ちもリフレッシュさせて頑張っていこうと思います。今年度も広報委員会の活動に皆様のご支援の程をよろしくお願ひ申し上げます~(*∩o∩)b♪(斎藤)

